

自己評価結果公表シート（令和6年度）

にわかきこども園

1、本園の教育目標

- ① よく食べ、よく寝、よく遊ぶ子
- ② じぶんを素直に表現できる子
- ③ いのちを大切にできる子

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

「育ち合い」をテーマに、目に見えない育ち（非認知能力）、選択する決断力、責任感、意欲、満足感を育むとともに専門性の向上につなげる。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	達成及び取組状況
保育目標①への取り組み 「よく食べ、よく寝、よく遊ぶ子」	子どもの生活リズムを大切にしながら、戸外遊びを中心にした活動の中で十分に満足できるよう環境設定や職員間の連携をとることができた。また、各年齢に合わせた午睡の捉え方を共有し、体制を整え、個別対応し丁寧に取り組めた。 職員間で「育ち合い」を意識し、異年齢での関わりの様子を伝えあうこともできた。
保育目標②への取り組み 「じぶんを素直に表現できる子」	0、1歳児の応答的な関りを土台にし、子どもの思いを代弁したり、受け止めたりしながら、発語・表現へとつながるよう関わってきた。また、発語や言葉での表現だけでなく、行動も表現と捉え、行動に対する理由や思いに寄り添った保育ができた。
保育目標③への取り組み 「いのちを大切にできる子」	職員が意識的に異年齢交流を持ち、その中で子ども達が優しくされる・遊んでもらう経験を積み重ね、自分の周りの人を大切にするという気持ちが受け継がれている。 また、身近な命(植物・昆虫・栽培活動)を通して、生長に興味を持つことや様々な命を大切にする気持ちが持てるよう関わった。

園内研修への取り組み	外部の研修は活発に行うことができた。また、園内研修として自分の言葉かけを振り返るロールプレイングや保護者対応に関するロールプレイングなどを行い、職員間で共有することができた。
保護者支援の取り組み	連絡帳や送迎時の対話を通じたコミュニケーションを大切にしながら、子どもの発達に関する具体的な助言を行った。また、緊急性の度合いに応じた面談の機会も設け、寄り添った支援を心掛けた。 保育参観や年度中間期(11月)のクラス懇談会を通して、保護者と共にクラスや年齢に応じた情報共有や成長を喜び合うことができた。 インスタやメールを活用した情報発信を行った。
感染症対策・安全対策への取り組み	感染症・安全マニュアルに基づいた対応及び定期的な避難訓練の実施と周知徹底を行った。また、園児と職員の基本的な手洗いやうがい、手指消毒の徹底にも取り組んだ
働きやすい職場づくりのための取り組み	ノンコンタクトでの休憩1時間の確保に努め、実施することができた。また、事務時間の確保及び業務省略化や作業効率の見直しにより、前年度よりも残業時間の減少を目指した。 シフトを調整することにより、希望休や有休を取得しやすい環境を整えた。また、急な欠勤や早退への対応も行い、職員間で協力しながら業務遂行できた。
室内外の環境づくり	子どもの興味や発達、季節に応じた環境設定について、会議等で話し合い、実践することができた。 また、安全・衛生面においては、担当職員による点検チェックなどを行い、安心・安全に努めた。
職員間の情報共有	様々な会議での共通理解や情報共有、確認などを行うことができた。また、年度初めの保護者説明会やクラス懇談会に向けた会議などを行い、園としての方向性を全体で再確認できた。
保育の質の向上及び職員の育成	自分の保育の振り返りができるような日誌の様式に変更し、自分の関わりや子ども理解を深めていった。その中で園長をはじめ他職員と自己の保育を振り返るやりとりがあり、共感や多くの気づきを得ることで職員のスキルアップに

	つながった。 新人育成計画に沿った定期的な振り返りの時間を設定。その場が相談できる環境となり、新採用者の育成につながった。
--	---

4、令和7年度に取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
ICTの活用	日誌や連絡帳、保護者との連絡などをデジタル化することで業務省略化及び保護者との密な連携につなげる
地域との連携	幼・保・小・中との連携や情報共有
職員間の情報共有	ICTを活用し、密な連携・情報共有に努める 未満児会議や以上児会議、全体会議を通して、各クラスの保育の様子や保育教諭の保育への思いを共有する
保育の質の向上及び職員の育成	新人育成計画に沿って、担当者との定期的な振り返りを行うことで相談できる環境を整え、新採用者の育成につなげる 自分の保育を振り返る機会（日誌・会議での報告）が増えることで、自分の保育の振り返りや気づきにつながる。その中で、園全体で各職員の保育を共有・学ぶことで質の向上に努める 外部の園内研修を取り入れ、専門家からの助言を保育に活かすことで、職員の育成を図る
保護者支援の取り組み	年3回の保育参観ウィークや 11 月のクラス懇談会を設定し、保育の様子や保育教諭の思いなどを伝えることで、共に子どもの成長を喜び合い、育ち合える機会とする インスタグラムやドキュメンテーションなどを使った情報発信